

バーレーンの石油の井戸と生命の木

千葉大学大学院工学研究科都市環境システムコース准教授
一般社団法人 洗楓座 代表理事

佐藤 建吉

「井」は井戸の「井」の変形であるという。なるほど似ている。今回は、石油の井戸を話題にする。本コラムの19回に、ツインタワーの間に風車をビルトインしたバーレーン世界貿易センターについて紹介した。

2008年1月のバーレーン訪問時、砂漠にある「生命の木」というのが気になり、タクシーを借り上げ目的地に向かった。バーレーンの中心部から約40キロ先までの道中、ドライバーは、南に向かうハイウェイの車窓風景や建物などについていろいろ説明してくれた。

土地と安価な石油を利用した金属精錬工業と合わせた、アルミ精錬工業も行われている。驚いたことに、この地のジュースの缶は、蓋の部分だけがアルミで、本体の部分はプラスチックとなつている。これは、地場のメリットを生かしたデザイン・商材ともいえる。

ドライバーは、バーレーン島のほぼ中央に来ると沿道に「石油博物館」があるといい、休憩を兼ねてそこに寄ることにした。正式名はDar An Nart Oil Museumという。バーレーンおよび中東湾内で、最初に石油が発見されたのが、この地で、バーレーン石油会社が設立された。探掘開始は1931年10月16日、汲み出しは翌年6月1日で、当初は

8月は休館で、それ以外は金・土曜の午前10時から午後5時まで、ラマダンの時期の終了時間は午後3時になる。

オイル博物館から10キロ程の距離に目的の「生命の木」があった。辺りに他の樹木はなく、この木だけが高さ10メートル以上の巨木に生育している。この木はアカシアの種で、スキートといい、地下20から30センチまで根を伸ばす。砂漠化防止の切り札といわれるほど生命力があると考えられている。

知っている。いま、このことへの対応が叫ばれており、脱石油・低炭素社会への転換が求められている。それは、「低エネルギー社会に裏打ちされた暮らし」への価値の交換でもある。

バーレーンでみたオイル博物館の「第1号井戸栓」は、石油文明黎明期の象徴であるが、それに対峙し、失われた文明を矜持するかのような「生命の木」は、私たち人類の大きな過ちに対して警告を発している。

ハイウェイを通り砂漠に入ると、石油のパイプラインが無造作に縦横に走っている。一面が平坦というわけではなく起伏があり、パイプラインは露出してそれを乗り越えている。ドライバーによれば、直径の太いパイプラインは井戸から汲み出した原油を隣国のサウジアラビアの精油所に送っているという。そして直径の細いパイプラインはガソリンを逆方向に送っており、それは掘り出し作業で使う井戸ポンプなどの燃料用であるという。

土壌と安価な石油を利用した金属精錬工業と合わせた、アルミ精錬工業も行われている。驚いたことに、この地のジュースの缶は、蓋の部分だけがアルミで、本体の部分はプラスチックとなつている。これは、地場のメリットを生かしたデザイン・商材ともいえる。

ドライバーは、バーレーン島のほぼ中央に来ると沿道に「石油博物館」があるといい、休憩を兼ねてそこに寄ることにした。正式名はDar An Nart Oil Museumという。バーレーンおよび中東湾内で、最初に石油が発見されたのが、この地で、バーレーン石油会社が設立された。探掘開始は1931年10月16日、汲み出しは翌年6月1日で、当初は

8月は休館で、それ以外は金・土曜の午前10時から午後5時まで、ラマダンの時期の終了時間は午後3時になる。

オイル博物館から10キロ程の距離に目的の「生命の木」があった。辺りに他の樹木はなく、この木だけが高さ10メートル以上の巨木に生育している。この木はアカシアの種で、スキートといい、地下20から30センチまで根を伸ばす。砂漠化防止の切り札といわれるほど生命力があると考えられている。

知っている。いま、このことへの対応が叫ばれており、脱石油・低炭素社会への転換が求められている。それは、「低エネルギー社会に裏打ちされた暮らし」への価値の交換でもある。

バーレーンでみたオイル博物館の「第1号井戸栓」は、石油文明黎明期の象徴であるが、それに対峙し、失われた文明を矜持するかのような「生命の木」は、私たち人類の大きな過ちに対して警告を発している。

ゆえに、「ポスト石油文明」は、石炭や石油などエネルギー資源をその名称に冠するのではなく、むしろエネルギー消費を抑えた「低エネルギー社会文明」としたい。その道にあるのは、自然エネルギー利用である。



中東で最初の石油井戸栓(オイル博物館)

土壌と安価な石油を利用した金属精錬工業と合わせた、アルミ精錬工業も行われている。驚いたことに、この地のジュースの缶は、蓋の部分だけがアルミで、本体の部分はプラスチックとなつている。これは、地場のメリットを生かしたデザイン・商材ともいえる。

土壌と安価な石油を利用した金属精錬工業と合わせた、アルミ精錬工業も行われている。驚いたことに、この地のジュースの缶は、蓋の部分だけがアルミで、本体の部分はプラスチックとなつている。これは、地場のメリットを生かしたデザイン・商材ともいえる。

土壌と安価な石油を利用した金属精錬工業と合わせた、アルミ精錬工業も行われている。驚いたことに、この地のジュースの缶は、蓋の部分だけがアルミで、本体の部分はプラスチックとなつている。これは、地場のメリットを生かしたデザイン・商材ともいえる。

土壌と安価な石油を利用した金属精錬工業と合わせた、アルミ精錬工業も行われている。驚いたことに、この地のジュースの缶は、蓋の部分だけがアルミで、本体の部分はプラスチックとなつている。これは、地場のメリットを生かしたデザイン・商材ともいえる。

土壌と安価な石油を利用した金属精錬工業と合わせた、アルミ精錬工業も行われている。驚いたことに、この地のジュースの缶は、蓋の部分だけがアルミで、本体の部分はプラスチックとなつている。これは、地場のメリットを生かしたデザイン・商材ともいえる。